

鯖江の眼鏡技術を活かした商品開発と販路開拓を支援

株式会社サーフデザイン

代表者名／若山 健太郎
業 種／小売業（インターネット通販）
所 在 地／鯖江市
事業内容／企画商品のインターネット通信販売



■事業を活用した経緯等

当社は、眼鏡技術を活用した商品の企画・販売を業務としている。鯖江には、眼鏡の製造で養われた高いレベルの加工と装飾の技術があり、他分野への応用の可能性を秘めているが、県外に向け幅広く認知してもらうためには、眼鏡以外への応用ができることを効果的に提示する必要性があった。

■活用内容

近年急成長を続け、注目度が高い携帯電話アクセサリー業界向けに、鯖江の眼鏡加工技術だからこそ製作できる、世界一薄いiphoneカバー「leaflick」の企画開発と販路開拓に取り組むこととなり、同事業が「ふくいの逸品創造ファンド」における「福井の強みを活かすチャレンジ企業支援事業」の採択を受けた。現在、ネットショップ等で販路開拓に取り組んでいる。

敦賀のみかんと福井米の米粉を活用した新しい洋菓子の開発と販路開拓

有限会社小堀菓舗

代表者名／小堀 真嗣
業 種／菓子製造・販売業
所 在 地／敦賀市
事業内容／洋菓子・和菓子の製造及び店舗での販売



■事業を活用した経緯等

明治時代に欧亜国際列車が走り、日本の海外への玄関口(国際港)であった敦賀港の、輸出量第一位で隆盛を極めた敦賀みかん。濃厚で酸味が強く敦賀市民の誰もが愛した懐かしい味は、今では時代のニーズに取り残され、衰退の一途を辿っていた。

そこで当社は、みかん農家と連携して栽培から携わり、漢方農法の採用と冷温貯蔵で年越しをし、昔ながらのコクと酸味のある日本最北限の栽培地の一つである敦賀みかんを使った新しい洋菓子を開発することとなった。

■活用内容

同事業が「ふくいの逸品創造ファンド」の「農商工連携による新事業創出支援事業」に採択された。クリームと敦賀みかんを挟み込むカステラ生地生地に小麦粉を一切使用せず、コシヒカリの敦賀産新米のみを100%使用し、どんつ 胴搗き（昔ながらの石臼挽き）による米粉粉碎を採用したオリジナルの米粉を使うなど、敦賀みかんみかんと敦賀産コシヒカリを使用した地産地消率の高い『敦賀ふわっせ』を開発。全国に向けて販路開拓に取り組んでいる。